



「特定求職者雇用開発助成金（発達障害者・難治性疾患患者雇用開発コース）」のご案内

「特定求職者雇用開発助成金（発達障害者・難治性疾患患者雇用開発コース）」は、障害者手帳を持たない発達障害や難病のある方を雇い入れる事業主に対して助成し、発達障害や難病のある方の雇用と職場定着を促進するためのものです。

発達障害や難病のある方を新たに雇い入れた事業主に助成金を支給します

以下の①、②のすべてに当てはまる対象者をハローワーク、地方運輸局、特定地方公共団体※1、職業紹介事業者※1の紹介により、**一般被保険者かつ継続して雇用する労働者※2**として**新たに雇用する事業主**に助成金を支給します。

「発達障害者・難治性疾患患者雇用開発コース」の対象者

① 障害者手帳を所持していない方であって、発達障害または難病のある方※3

- ▶ 発達障害の場合：発達障害者支援法第2条に規定する発達障害者（自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害など）
- ▶ 難病の場合：別紙の難病がある方

② 雇入れ日時点で満年齢が65歳未満である方

- ※1 発達障害者・難治性疾患患者雇用開発コースの取扱いを行うに当たって、雇用関係給付金の取扱いについて同意書を労働局に提出している特定地方公共団体・職業紹介事業者をいいます。
- ※2 継続して雇用する労働者とは、正規雇用または無期雇用、もしくは有期雇用であって対象労働者の年齢が65歳以上に達するまで継続して雇用し、かつ、当該雇用期間が継続して2年以上あることをいいます。有期雇用の場合「対象労働者が望む限り更新できる契約」の場合に対象となり、勤務成績等により更新の有無を判断する場合等は対象となりません。
- ※3 「障害者の雇用の促進等に関する法律」第2条第2号に規定する身体障害者、同条第4号に規定する知的障害者、同条第6号に規定する精神障害者に該当する方は除きます。

助成額

対象労働者	企業規模	助成対象期間※4	支給総額※5				
			第1期	第2期	第3期	第4期	
短時間労働者※6 以外の労働者	中小企業以外	1年	50万円	25万円	25万円		
	中小企業	2年	120万円	30万円	30万円	30万円	30万円
短時間労働者	中小企業以外	1年	30万円	15万円	15万円		
	中小企業	2年	80万円	20万円	20万円	20万円	20万円

※4,5 助成対象期間を6か月ごとに区分した期間を支給対象期（第1期・第2期・第3期・第4期）といい、支給総額を支給対象期に分けて支給します。

※6 短時間労働者とは、1週間の所定労働時間が、20時間以上30時間未満の労働者をいいます。

<注意>

所定労働時間より著しく実労働時間が短い場合や短時間労働者以外の者の実際の週当たりの賃金が「最低賃金×30時間」を下回っている場合には、支給額が減額される場合や支給されないことがあります。

【ご案内】

本コースの対象となる労働者を雇い入れ、**訓練+賃上げ**を実施した場合に、**本コースの1.5倍の助成額**を支給する「**成長分野等人材確保・育成コース**」があります。対象者に人材育成などをお考えの事業主の皆様は、こちらのパンフレットもご覧ください！
<https://www.mhlw.go.jp/content/001018961.pdf>



対象となる事業主の要件

◆雇用保険の適用事業主であること

◆対象労働者の出勤状況や賃金の支払状況などを明らかにする書類※7を整備・保管していること

※7 労働者名簿、賃金台帳、出勤簿など

<ご注意>

1. 以下に該当する場合は助成金が支給されません

1	基準期間（対象労働者の雇入れ日の前後6か月間）に、対象労働者を雇い入れた事業所において、雇用保険被保険者を解雇（勧奨退職を含む）など事業主都合で離職させたことがある場合
2	基準期間に、対象労働者を雇い入れた事業所において、雇用保険被保険者を、特定受給資格者となる離職理由のうち離職区分コードの1A（解雇等）または3A（勧奨退職のほか、事業縮小や賃金大幅低下などによる正当理由自己都合離職など）の理由によって、当該雇入れ日における雇用保険被保険者数の6%を超えて、かつ、4人以上離職させていた場合
3	ハローワークなどの紹介以前に、雇入れに向けた選考を開始していた対象労働者を雇い入れる場合
4	ハローワークなどの紹介時点で雇用保険被保険者など失業と同様の状態にあると認められない対象労働者を雇い入れる場合
5	雇入れ日の前日から過去3年間に、職場適応訓練（短期の職場適応訓練を除く）を受けたことのある者を当該職場適応訓練を行った事業主が雇い入れる場合
6	雇入れ日の前日から過去3年間に、当該雇入れに係る事業所と雇用、請負、委任の関係にあった者、または出向、派遣、請負、委任の関係により当該雇入れに係る事業所において就労したことのある者を雇い入れる場合
7	雇入れ日の前日から過去3年間に、当該雇入れに係る事業所において、通算して3か月を超えて訓練・実習等を受講したことのある者を雇い入れる場合
8	雇入れ日の前日から過去1年間に、対象労働者と雇用、請負、委任の関係にあった事業主、出向、派遣、請負、委任の関係により対象労働者を事業所において就労させたことがある事業主、対象労働者が通算して3か月を超えて受講などしたことのある訓練・実習などを行っていた事業主と、同一の事業主が雇い入れる場合又は資本的・経済的・組織的関連性などからみて当該事業主と密接な関係にある事業主が当該対象労働者を雇い入れる場合
9	対象労働者が、雇入れ事業主の事業所の代表者または取締役の3親等以内の親族（配偶者、3親等以内の血族と姻族）である場合
10	支給対象期における対象労働者の労働に対する賃金を、支払期日を超えてまだ支払っていない場合
11	ハローワークなどの紹介時点と異なる条件で雇い入れた場合で、当該対象労働者に対し労働条件に関する不利益または違法行為があり、かつ、当該対象労働者から求人条件が異なることについての申出があった場合
12	高年齢者雇用確保措置を講ずべきことの勧告を受けた場合または高年齢者就業確保措置の是正に向けた計画作成勧告を受けた場合
13	障害者総合支援法に基づく勧告等を受けた場合（対象労働者がA型事業所の利用者として雇い入れられた場合のみ）
14	支給申請日の前日から過去3年間に、当該助成金の支給決定がなされた者※8を助成対象期間中に解雇等事業主都合で離職させた場合

※8 対象労働者種別が同一の特定求職者雇用開発助成金（成長分野等人材確保・育成コース）の支給決定がなされた者を含みます。

2. 支給対象期の途中で対象労働者が離職した場合は、当該支給対象期について原則不支給となります※9。

※9 対象労働者の責めに帰すべき理由による解雇、対象労働者の死亡、天災その他やむを得ない理由による解雇の場合は支給される可能性があります。

【ご注意】

- ・他の助成金の支給を受けている場合は、支給対象とならない場合があります。
- ・国、地方公共団体、行政執行法人など（これらの機関からの委託事業を実施している事業主で、対象労働者が当該委託事業に従事する場合を含む）の機関は支給対象とならない場合があります。
- ・この助成金を受給した事業主は国の会計検査の対象になることがあり、検査の対象となった場合は、ご協力をお願いします。また、関係書類については、支給決定がされたときから5年間整理保存してください。

このほかにも支給要件があります。詳しくは、都道府県労働局・ハローワークへお問合せください。

受給までの流れ

ハローワークから紹介を受けた場合

① ハローワークに求人の申込み

ハローワークからの職業紹介

② 対象労働者の雇入れ

◇支給申請の手続き◇

③ 助成金の第1期支給申請

支給審査
支給決定

④ 助成金の受給

※第2～4期支給申請も同様の手続きが必要です。

障害者トライアル雇用終了後も、引き続き、一般被保険者として雇入れ、かつ、継続して雇用する労働者として雇用する場合、発達障害者・難治性疾患患者雇用開発コースを受給することができます。※第1期は支給されません。

それぞれの支給対象期の末日の翌日から起算して2か月以内に、労働局またはハローワークに、支給申請書及び添付書類を提出する必要があります。

職場適応支援を行うため、ハローワーク職員が職場を訪問する場合があります。

発達障害者・難治性疾患患者雇用開発コース対象疾患一覧 1 (別紙)

番号	疾病名	番号	疾病名	番号	疾病名
1	アイカルディ症候群	64	環状20番染色体症候群	127	骨髄線維症
2	アイザックス症候群	65	関節リウマチ	128	ゴナドトロピン分泌亢進症
3	I g A腎症	66	完全大血管転位症	129	5 p欠失症候群
4	I g G 4 関連疾患	67	眼皮膚白皮症	130	コフィン・シリズ症候群
5	亜急性硬化性全脳炎	68	偽性副甲状腺機能低下症	131	コフィン・ローリー症候群
6	アジソン病	69	ギャロウエイ・モフト症候群	132	混合性結合組織病
7	アッシャー症候群	70	急性壊死性脳症	133	鰓耳腎症候群
8	アトピー性脊髄炎	71	急性網膜壊死	134	再生不良性貧血
9	アペール症候群	72	球脊髄性筋萎縮症	135	サイトメガロウイルス角膜炎
10	アミロイドーシス	73	急速進行性糸球体腎炎	136	再発性多発軟骨炎
11	アラジール症候群	74	強直性脊椎炎	137	左心低形成症候群
12	アルポート症候群	75	巨細胞性動脈炎	138	サルコイドーシス
13	アレキサンダー病	76	巨大静脈奇形(頸部口咽頭びまん性病変)	139	三尖弁閉鎖症
14	アンジェルマン症候群	77	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	140	三頭筋系欠損症
15	アントレー・ピクスラー症候群	78	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	141	CFC症候群
16	イソ吉草酸血症	79	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	142	シェーグレン症候群
17	一次性ネフローゼ症候群	80	筋萎縮性側索硬化症	143	色素性乾皮症
18	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	81	筋型糖尿病	144	自己食空胞性ミオパチー
19	1 p 36欠失症候群	82	筋ジストロフィー	145	自己免疫性肝炎
20	遺伝性自己炎症疾患	83	クッシング病	146	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症
21	遺伝性ジストニア	84	クリオピリン関連周期熱症候群	147	自己免疫性溶血性貧血
22	遺伝性周期性四肢麻痺	85	クリッペル・トレブナー・ウェーバー症候群	148	四肢形成不全
23	遺伝性肺炎	86	クルーゾン症候群	149	シトステロール血症
24	遺伝性鉄芽球性貧血	87	グルコーストランスポーター1欠損症	150	シトリン欠損症
25	ウィーバー症候群	88	グルタル酸血症1型	151	紫斑病性腎炎
26	ウィリアムズ症候群	89	グルタル酸血症2型	152	脂肪萎縮症
27	ウィルソン病	90	クロウ・深瀬症候群	153	若年性特発性関節炎
28	ウエスト症候群	91	クローン病	154	若年性肺気腫
29	ウェルナー症候群	92	クロンカイト・カナダ症候群	155	シャルコー・マリー・トゥース病
30	ウォルフラム症候群	93	痙攣重積型(二相性)急性脳症	156	重症筋無力症
31	ウルリッヒ病	94	結節性硬化症	157	修正大血管転位症
32	HTRA1関連脳小血管病	95	結節性多発動脈炎	158	出血性線溶異常症
33	HTLV-1 関連脊髄症	96	血栓性血小板減少性紫斑病	159	ジュベール症候群関連疾患
34	A T R - X 症候群	97	限局性皮質異形成	160	シュワルツ・ヤンベル症候群
35	A D H 分泌異常症	98	原発性肝外門脈閉塞症	161	神経細胞移動異常症
36	エーラス・ダンロス症候群	99	原発性局所多汗症	162	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症
37	エプスタイン症候群	100	原発性硬化性胆管炎	163	神経線維腫症
38	エプスタイン病	101	原発性高脂血症	164	神経有棘赤血球症
39	エマヌエル症候群	102	原発性側索硬化症	165	進行性核上性麻痺
40	MECP2重複症候群	103	原発性胆汁性胆管炎	166	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症
41	LMNB1関連大脳白質脳症	104	原発性免疫不全症候群	167	進行性骨化性線維異形成症
42	遠位型ミオパチー	105	顕微鏡の大腸炎	168	進行性多巣性白質脳症
43	円錐角膜	106	顕微鏡的多発血管炎	169	進行性白質脳症
44	黄色靑帯骨化症	107	高 I g D 症候群	170	進行性ミオクロームスアトピー
45	黄斑ジストロフィー	108	好酸球性消化管疾患	171	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症
46	大田原症候群	109	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	172	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症
47	オクシピタル・ホーン症候群	110	好酸球性副鼻腔炎	173	睡眠時棘徐波活性化を示す発達性てんかん性脳症およびてんかん性脳症 ※徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症
48	オスラー病	111	抗糸球体基底膜腎炎	174	スタージ・ウェーバー症候群
49	カーニー複合	112	後縦靑帯骨化症	175	スティーヴンス・ジョンソン症候群
50	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	113	甲状腺ホルモン不応症	176	スミス・マジニス症候群
51	潰瘍性大腸炎	114	拘束型心筋症	177	スモン
52	下垂体前葉機能低下症	115	高チロシン血症1型	178	脆弱X症候群
53	家族性地中海熱	116	高チロシン血症2型	179	脆弱X症候群関連疾患
54	家族性低βリポタンパク血症1(ホモ接合体)	117	高チロシン血症3型	180	成人発症スチル病
55	家族性良性慢性天疱瘡	118	後天性赤芽球癆	181	成長ホルモン分泌亢進症
56	カナバン病	119	広範脊柱管狭窄症	182	脊髄空洞症
57	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	120	膠様滴状角膜ジストロフィー	183	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)
58	歌舞伎症候群	121	抗リン脂質抗体症候群	184	脊髄髄膜瘤
59	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	122	極長鎖アシル-CoA 脱水素酵素欠損症	185	脊髄性筋萎縮症
60	カルニチン回路異常症	123	コケイン症候群	186	セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症
61	加齢黄斑変性	124	コステロ症候群	187	前眼部形成異常
62	肝型糖原病	125	骨形成不全症	188	全身性エリテマトーデス
63	間質性膀胱炎(ハンナ型)	126	骨髄異形成症候群	189	全身性強皮症

※ 令和7年3月31日までの疾病名

発達障害者・難治性疾患患者雇用開発コース対象疾患一覧 2 (別紙)

番号	疾病名	番号	疾病名	番号	疾病名
190	先天異常症候群	254	ドラベ症候群	318	ベーチェット病
191	先天性横隔膜ヘルニア	255	中條・西村症候群	319	ベスレムミオパチー
192	先天性核上性球麻痺	256	那須・ハコラ病	320	ヘパリン起因性血小板減少症
193	先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症	257	軟骨無形成症	321	ヘモクロマトーシス
194	先天性魚鱗癬	258	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	322	ペリー病
195	先天性筋無力症候群	259	22q11.2欠失症候群	323	ペルーシド角膜辺縁変性症
196	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	260	乳児発症STING 関連血管炎	324	ペルオキシゾーム病 (副腎白質ジストロフィーを除く。)
197	先天性三尖弁狭窄症	261	乳幼児肝巨大血管腫	325	片側巨脳症
198	先天性腎性尿崩症	262	尿素サイクル異常症	326	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群
199	先天性赤血球形成異常性貧血	263	ヌーナン症候群	327	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症
200	先天性僧帽弁狭窄症	264	ネイルパテラ症候群 (爪蓋骨骨化症候群) / LMX1B 関連腎症	328	発作性夜間ヘモグロビン尿症
201	先天性大脳白質形成不全症	265	ネフロン癆	329	ホモシスチン尿症
202	先天性肺静脈狭窄症	266	脳クレアチン欠乏症候群	330	ポルフィリン症
203	先天性風疹症候群	267	脳腱黄色腫症	331	マリネスコ・シェーグレン症候群
204	先天性副腎低形成症	268	脳内鉄沈着神経変性症	332	マルファン症候群/ロイス・ディーツ症候群
205	先天性副腎皮質酵素欠損症	269	脳表ヘモジデリン沈着症	333	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー
206	先天性ミオパチー	270	膿疱性乾癬	334	慢性血栓性肺高血圧症
207	先天性無痛無汗症	271	膿疱性線維症	335	慢性再発性多発性骨髄炎
208	先天性葉酸吸収不全	272	パーキンソン病	336	慢性痔瘻
209	前頭側頭葉変性症	273	パージャー病	337	慢性特発性偽性腸閉塞症
210	線毛機能不全症候群 (カルタグナー症候群を含む。)	274	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	338	ミオクロニー欠伸てんかん
211	早期ミオクロニー脳症	275	肺動脈性肺高血圧症	339	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん
212	総動脈幹遺残症	276	肺胞蛋白症 (自己免疫性又は先天性)	340	ミトコンドリア病
213	総排泄腔遺残	277	肺胞低換気症候群	341	無虹彩症
214	総排泄腔外反症	278	ハッチンソン・ギルフォード症候群	342	無脾症候群
215	ソトス症候群	279	バッド・キアリ症候群	343	無βリポタンパク血症
216	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	280	ハンチントン病	344	メーブルシロップ尿症
217	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	281	汎発性特発性骨増殖症	345	メチルグルタコン酸尿症
218	大脳皮質基底核変性症	282	P C D H 19 関連症候群	346	メチルマロン酸血症
219	大理石骨病	283	P U R A 関連神経発達異常症	347	メビウス症候群
220	ダウン症候群	284	非ケトーシス型高グリシン血症	348	免疫性血小板減少症 ※特発性血小板減少性紫斑病
221	高安静脈炎	285	肥厚性皮膚骨膜炎	349	メンケス病
222	多系統萎縮症	286	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	350	網膜色素変性症
223	タナトフォリック骨異形成症	287	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	351	もやもや病
224	多発血管炎性肉芽腫症	288	肥大型心筋症	352	モワット・ウイルソン症候群
225	多発性硬化症/視神経脊髄炎	289	左肺動脈右肺動脈起始症	353	薬剤性過敏症候群
226	多発性軟骨性外骨腫症	290	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	354	ヤング・シンプソン症候群
227	多発性嚢胞腎	291	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	355	優性遺伝形式をとる遺伝性難聴
228	多脾症候群	292	ピッカースタッフ脳幹脳炎	356	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん
229	タンジール病	293	非典型型溶血性尿毒症候群	357	4p欠失症候群
230	単心室症	294	非特異性多発性小腸潰瘍症	358	ライソゾーム病
231	弾性線維性仮性黄色腫	295	皮膚筋炎/多発性筋炎	359	ラスムッセン脳炎
232	短腸症候群	296	びまん性汎細気管支炎	360	ランゲルハンス細胞組織球症
233	胆道閉鎖症	297	肥満低換気症候群	361	ランドウ・クレフナー症候群
234	遅発性内リンパ水腫	298	表皮水疱症	362	リジン尿性蛋白不耐症
235	チャージ症候群	299	ヒルシュスブルグ病 (全結腸型又は小腸型)	363	両側性小耳症・外耳道閉鎖症
236	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	300	VATER症候群	364	両大血管右室起始症
237	中毒性表皮壊死症	301	ファイファー症候群	365	リンパ管腫症/ゴーム病
238	腸管神経節細胞僅少症	302	ファロー四徴症	366	リンパ管筋腫症
239	TRPV 4 異常症	303	ファンコニ貧血	367	類天疱瘡 (後天性表皮水疱症を含む。)
240	TSH分泌亢進症	304	封入体筋炎	368	ルビンシュタイン・テイビ症候群
241	TNF受容体関連周期性症候群	305	フェニルケトン尿症	369	レーベル遺伝性視神経症
242	低ホスファターゼ症	306	フォンタン術後症候群	370	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症
243	天疱瘡	307	複合カルボキシラーゼ欠損症	371	劣性遺伝形式をとる遺伝性難聴
244	特発性拡張型心筋症	308	副甲状腺機能低下症	372	レット症候群
245	特発性間質性肺炎	309	副腎白質ジストロフィー	373	レノックス・ガストー症候群
246	特発性基底核石灰化症	310	副腎皮質刺激ホルモン不応症	374	ロウ症候群
247	特発性血栓症 (遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	311	ブラウ症候群	375	ロスマンド・トムソン症候群
248	特発性後天性全身性無汗症	312	ブラダー・ウィリ症候群	376	肋骨異常を伴う先天性側弯症
249	特発性大腿骨頭壊死症	313	プリオン病		
250	特発性多中心性キャスルマン病	314	プロピオン酸血症		
251	特発性門脈圧亢進症	315	PRL分泌亢進症 (高プロラクチン血症)		
252	特発性両側性感音難聴	316	閉塞性細気管支炎		
253	突発性難聴	317	β-ケトチオラーゼ欠損症		

※ 令和7年3月31日までの疾病名